

基本計画のスローガン

一宮町総合計画の総論にあたる基本構想では、まちづくりの基本理念として

1. ひとりひとりの人間性が尊重されるまちづくり
2. 一生暮らし続けることのできるまちづくり
3. 町民との協働によるまちづくり
4. 自然との調和の中で生きるまちづくり

の4項目がテーマとして掲げられています。

これら4項目に共通することは主体が人であることです。すなわち、これからのまちづくりにおいて、その主体となるのは住民以外の何ものでもないということであり、これからの町づくりの方向性は、住民の、住民による、住民のためのまちづくりでなければならないということです。

こうした方向性のもと基本計画は、網羅すべき事項すべてについて「住民みんなが手をつないで、いっしょにまちづくりに参加する」という考え方を根底に作成されました。

総合計画の総論としての基本構想では「まちづくりの視点」の項で、一宮町の将来像を表現するスローガンとしては「躍動する緑と海と太陽のまち」が相応しいとも述べています。一宮町のまちづくりにおいてもっとも重要な事柄は、「一宮町が有するもっとも基本的な財産としての、緑と、海と、そしてそこに降り注ぐ太陽の恵みをベースに、生き生きとした、躍動感ある暮らしの場を作っていく」ことだからです。山の緑と、海の青、そして燦々と降り注ぐ太陽の光、そのイメージするところの躍動感や豊かさを表現しており、内外に発信する大きな意味での一宮町の将来像やイメージを鮮やかに想起させる言葉になっています。

いっぽうで町を住民主体の町に作り替えていく今回の基本計画をひと言でイメージさせるために、「躍動する緑と海と太陽のまち」という普遍的なスローガンを補完する、今の時代に相応しいスローガンも必要となってきます。

そこで、「躍動する緑と海と太陽のまち」は一宮町の将来像、あるいはイメージとしての全体像を普遍的に伝える言葉とし、いっぽうで、一宮町の住民が今の時代に拠りどころとする今後の目標や、決意を表明する言葉として基本計画のスローガンを以下に決めました。

一宮町基本計画の基本的なコンセプトは「みんなで作るまち」です。このコンセプトを言い表すスローガンは、企業だけでもなく、行政だけでもなく、一部の有力者だけでもなく、古くから住んでいる住民だけでもなく、新しく入っ

てこられた住民だけでなく、一宮町に暮らすすべての住民でつくる、という自信と誇りと覚悟を表すメッセージでなければなりません。そしてこのメッセージは町中に発信されて住民みんなの意識のつながり、連帯、一宮町民魂、一宮町民気質を創造していきます。さらには、「躍動する緑と海と太陽のまち」という言葉とともに町外に発信されて一宮町の暮らしやすさを広く伝えていくものとなります。

もちろん、高齢化社会の到来を強く意識しなければなりません。少子化も、人口の減少も想定する必要があります。経済や環境問題、地球温暖化などなど解決すべき問題は山のように横たわっています。そうした中であって一宮町は住民みんなが手を携えて元気で、明るく、暮らしやすいまちを目指していくのです。この考え方こそ基本計画の目指した究極の目標であり、そして、この目標に沿って構築された基本計画の内容は、スローガンという短いワンフレーズに集約されます。まちづくりの目指す方向はこのフレーズによってより明確になり、膨大なボリュームの基本計画は細部にわたって有機的に関連づけられています。

みんなでつくる心かよいあうまち・一宮

長くなく、誰にでも理解でき、「人」の介在をイメージでき、印象的で覚えやすい、シンプルなフレーズにしました。町民の暮らし方の今後、すなわち、みんなが手を取り合い、協力しあってまちづくりを進めるという方向性を明快に表現しています。

さらに、ここでいう「心かよいあう」の心が意味するのは、

- 自然を愛する心
- 文化を大切にする心
- 歴史を尊ぶ心
- 家族を、隣人を、地域を思いやる心
- 外部の人を思いやる心

です。こうしたいろいろな心と心が、互いに絡み合い、かよいあってこれからの一宮町を創り上げていく。心を通わせあいながら、住民みんなでいっしょにつくっていくまち、これこそ、これから 10 年間、一宮町が目指す方向を指し示すメッセージにほかなりません。